

“徒歩遠足” ～世界遺産でのんびり～

学校周辺を見下ろしながら…



の野々谷にある絶景ポイントからのものです。子どもたちの眼下に見えるのは、右は「十津川温泉北トンネル入口」、中央に「高森地域」、左に「平谷わらびお地域」、中央左上が「那知合地域」です。この写真の中心部が学校の建つ所ですが、高森山に隠れて見ることはできません。

今回の遠足の実現に向けて、PTA 三役会で数回の会議を開き検討しました。

当初は、「ファミリー徒歩遠足」として、家族単位で徒歩の遠足を楽しむ計画でした。

しかし、コロナ禍の状況が芳しくなく、この計画を中止することになりました。

それでも全中止は考えず、11月30日（月）児童と教職員の遠足実施に踏み切りました。

天候が安定する時期ですが、さすがに気温が低くなり、冷たい冬風の洗礼を受けました。

この写真は、果無集落



「千と千尋の神隠し」に出てくるようなV字の山々を眺めながら、『村は昔、山の上の方に家が建ち集落ができていた。それは、街道が尾根伝いに続いていたからだ。』と言うことを学びました。村は、山の上から発達してきたという事実と不思議さを考えながら、下に見える国道の開通は、昭和33年(1958年)なので、凡そ62年しか経っていないことも合わせて確認しました。

登ったぞー！
体力ついてるなー！



1年生も最長コース歩いたよ！
やーれ やーれ！

感動あり！

学習発表会

9日(水)

規模を縮小して実施した学習発表会。

これまでの学習の成果をそれぞれの学年が全校児童の前で発表しました。

この写真は、5・6年生が、合同合奏「ラバースコンチェルト」と「アフリカンシンフォニー」を演奏しているところです。

これがまた迫力満点で、リズム良く奏で

られる音のハーモニーに心から感動しました。この合奏に代表されるように、他の学年の発表も学級力がものすごく出ていて、どれも良い発表でした。全部の発表後の意見交換では、1年生も何人か手を挙げ自分の意見を述べるなど、大いに盛り上がりました！

その後、この5・6年生の合同合奏のアンコールを行い、再びその演奏をみんなで聞き入りました。大きな拍手の中、5年生と6年生は胸を張って自分たちの席に戻っていました。さすが、学校を代表する高学年！その誇らしい気持ちが会場に満ちあふれていました！！



じょうずだな～！
さすがだな～！
かっこいいなあ！



はやぶさ2

皆さんご存じの“はやぶさ2”。

ものすごいことをやってくれましたね。今の6年生が1年生に入学し

た6年前の12月に、種子島から打ち上げられました。その後、52,4億kmという想像もできない距離を飛行して、地球の近くに戻り、カプセルだけ地球に届けてくれました。その後、探査機本体は更に11年の旅に出たと言うのです。小惑星の物質を持ち帰るという「惑星間往復探査技術」を世界で初めて完成させてしまったのです。この信じられない事を実現させたのが、**日本の宇宙航空研究開発機構(JAXA：ジャクサ)**です。

私は、この関係する新聞記事を読んで更に感動してしまいました。そこに書かれていたのは、実現不可能とも言える状況が数え切れないほど立ちはずだかり、何度となく挫折したり、あきらめたりしたというこれまでの数々の労苦の報告でした。この状況でなぜ実現したのか、頭をかしげることしかできない内容でした。しかし、難題をはね除け実現させてしまった今、過去を振り返った言葉の中で、その原動力となったのは、**子どもの頃に培った「やんちゃ」な、「やってみよう」という気持ちだった**と書かれていたのです。この方々はこれを『文化』だと表現していました。すごい事を成し遂げた力は、なんと**子ども時代の心**だったのです。

特別な事ではない。**今の子どもたちの中にもある「やってみよう」という素直な心が大切なんだ**と改めて教えてくれました。**子どもたちのこの心を丁寧に大切に、大いに伸ばしていきたいものです。**

2021年の始まりに、しっかり目標をたてましょう！
今年も終わりに近づき、皆様のご協力に感謝申し上げます。
みなさん、よいお年をお迎えください。

夢を持つことって大事だね！
夢を大きくふくらませよう！